

IFRS時代のグローバル 経営を実現する

グループ経営管理高度化
支援サービス



IFRS対応に伴うグループ経営管理の高度化支援サービス

ビジネスのグローバル化や経営環境の激変・複雑化により、従来のグループ経営管理に対する変革の必要性が高まっています。またIFRSは、企業にグループの会計基準を統一することだけでなく、その企業の経営の実態及び経営者の考えを企業間で比較可能な形で外部に公開することを求めています。

今こそグループ経営管理を本質的に見直し、国際的に高い評価を獲得する絶好の機会であるとPwCは考えます。

IFRS対応に伴う経営管理への影響は把握していますか？

- IFRSの適用が具体的にどのように経営管理に影響するのか良く分からないということはありませんか？
- IFRSの適用は、財務数値の変更だけではなく、業務プロセスやシステム、業績評価や事業計画等にも影響があります。
- PwCは、IFRS適用に伴う経営管理への影響を分析し、IFRS適用までの取り組み方針・マスタープランの策定を支援します。さらに、実際の適用や変革の実施においても、各種ツールやテンプレート、国内外のIFRS先進事例を活用し、あらゆる面での支援を行います。

経営者が本当に求めている経営情報をご存知ですか？

- 経営者は欲しい経営情報を欲しいタイミングで入手することが出来ているでしょうか？
- 経営情報はタイムリーに提供されないと役に立ちません。また、経営環境は日々変化しており、今作成している経営管理レポートは既に経営者の求める情報を提供していないかもしれません。
- PwCは、現状のグループ経営管理について、経営判断に役立つ情報が整備されているかどうかを「切り口・粒度(事業、製品、顧客等)」、「範囲(業績管理指標、科目)」、「スピード」、「精度」の観点から分析の上、課題の抽出と解決策の検討を行い、新しいグループ経営管理の仕組み作りを支援します。

経営者は海外子会社の状況を正しく把握出来ていますか？

- 本社と比較した場合に、海外子会社に関しては得られる情報が少ない、あるいは業績管理指標の定義が違っている、そのような事はないでしょうか？
- グループ内で管理する経営情報の範囲や指標の定義が違っていると、調整や分析に余計な手間がかかるだけではなく、適切な経営判断を妨げる恐れがあります。
- PwCは、グローバル業績管理指標の設計、業務プロセスの標準化、グループ標準システムの国内外への導入・展開を一貫して支援します。また、PwCのグローバル・ネットワークを活用し、グローバル規模のプロジェクトニーズにもお応えします。

間接業務やITの運用・保守に多大なコストがかかっていませんか？

- 内部統制やIFRS対応等に伴い、経理部門の要員は増えていませんか？また各子会社や部門のニーズに基づいた個別システムの構築により、運用・保守を初めとするITコストは肥大化していませんか？
- 消費の低迷や価格競争の激化など企業を取り巻く環境が一層厳しさを増している中、多くの企業がコスト削減を迫られています。またIFRSの適用により決算作業の工数増大も予想され、全体的な業務効率化が強く求められます。
- PwCは、グループ内の業務の標準化、シェアードサービスセンター化、勘定科目等のマスタ統合によるメンテナンス業務負荷の削減、システム基盤の統一、ITベンダーとの契約内容の見直し等の施策の実行により、継続的な低コストオペレーションの実現を支援します。

予算情報は経営判断に役立っていますか？

- 予算は策定しているけれども状況の変化が反映されず、経営判断に役立っていないということはありませんか？
- 多くの企業で、予算の見直し頻度が不十分で正確な見通しが分からず、適切な経営判断が出来ないという問題を抱えています。まずは予算編成の作業量低減が変革の第一歩です。
- PwCは予算編成・見直しサイクルの短縮化や予測情報を積極的に活用した予算管理プロセスの構築により、迅速で精度の高い経営判断を支援します。

PwCは海外展開を見据えたグローバル企業を対象に、IFRS対応に伴うグループ経営管理の高度化を支援します。

PwCはIFRS対応及びグループ経営管理の高度化に向けて、あるべき姿をデザインし、「ルール」、「業務プロセス」、「システム」の3つの領域における変革を支援します。

【IFRS対応及びグループ経営管理の高度化に向けた主な整備事項】

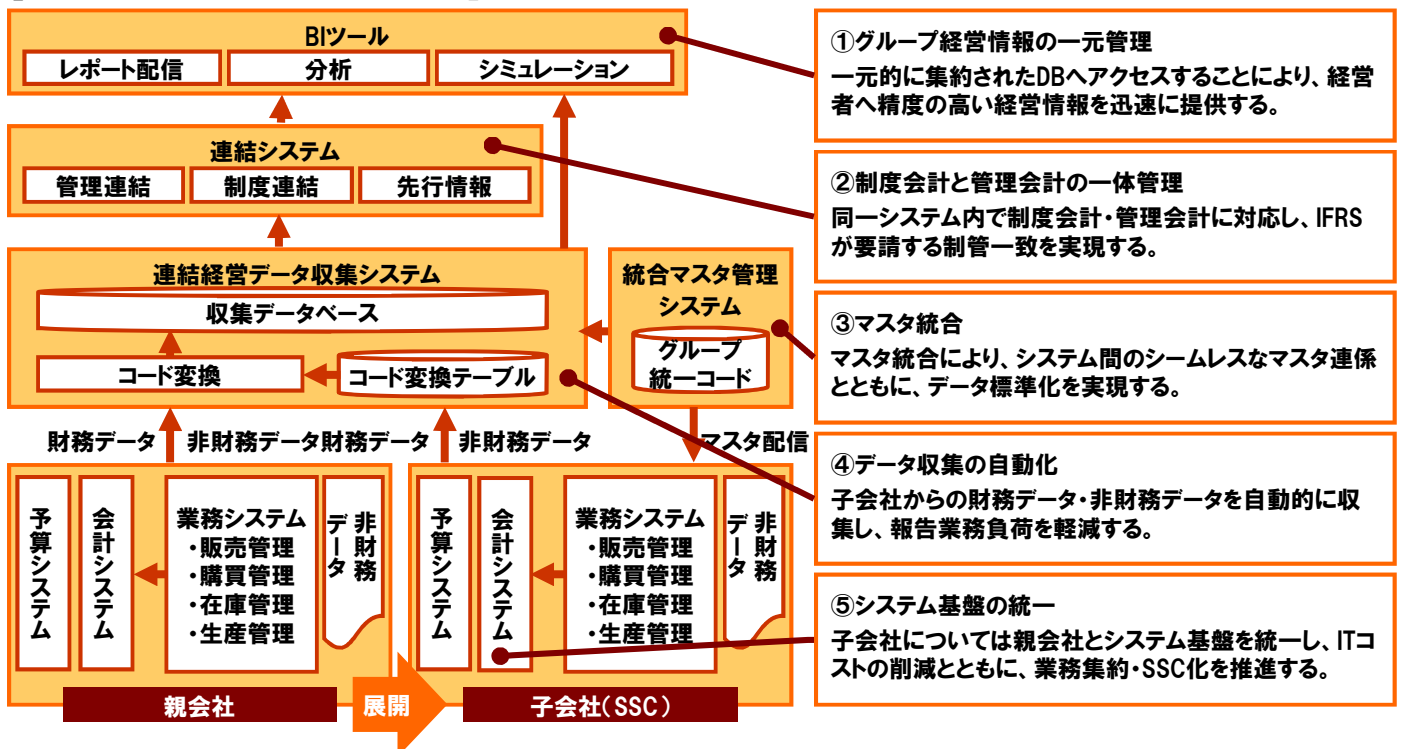
IFRSへの対応
➢ 原則主義への変更
➢ 会計処理基準の変更
➢ 財務諸表の表示の変更
➢ グループ内で統一された決算期
➢ マネジメントアプローチの導入
➢ 複数会計基準への対応

グループ経営管理の高度化
➢ 業績評価指標はグループ内で統一・標準化され比較・管理が可能である
➢ 海外(及び国内)子会社の経営に関して本社がマネジメント出来ている
➢ グループ内の業務標準化及びシステム基盤の統一により、低コストオペレーションが実現できている
➢ グループ内の各子会社の経営状況がタイムリーかつ正確に把握できる
➢ 企業戦略・経営理念が海外拠点を含めた企業グループ内に浸透している
➢ 予測・見通し情報が積極的に活用され、経営環境や前提条件の変化に伴う意思決定が迅速かつ適切に行われる

	主な整備事項	IFRS対応	経営管理高度化
1. ルール	グループ統一会計基準の整備	●	●
	業績管理指標の整備	●	●
	コード統一・データ標準化	●	●
2. 業務プロセス	決算早期化・決算期統一	●	●
	予測・見通し業務の短サイクル化	●	●
	業務の標準化・集中化	●	●
	子会社の体制整備	●	●
3. システム	システム基盤の統一	●	●
	個社システムの整備	●	●
	統合マスタ管理システムの構築		●

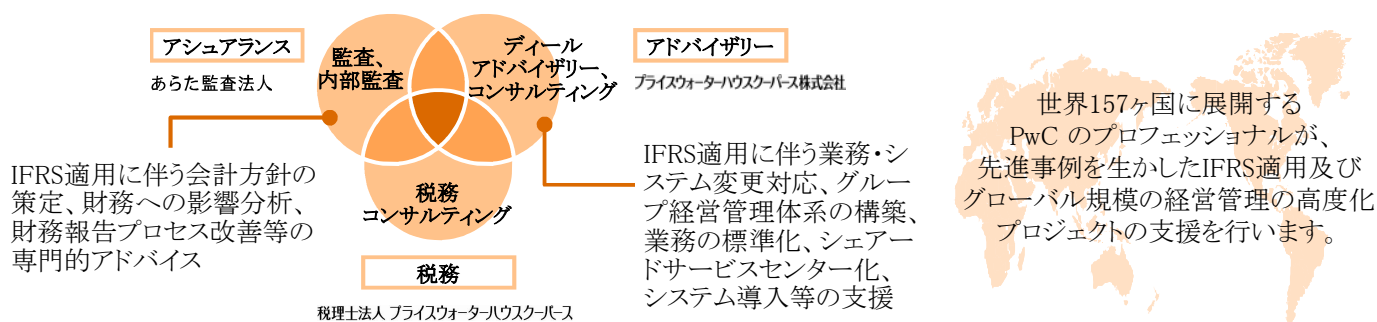
グループ経営管理システムの構築にあたっては、以下5つの要件を最重要実現ポイントと位置付け、それぞれの企業の経営管理要件に応じたシステム構築を支援します。

【グループ経営管理システムの全体像】



PwCの総合的なサービスとグローバルネットワーク

PwC Japan は、監査・アシュアランス、アドバイザー・コンサルティング、そして税務といったあらゆる分野のプロフェッショナルが連携し、またPwCのグローバルネットワークを生かして、複雑化・多様化する企業の経営課題の解決を支援します。



PwC Japan の主なサービス提供事例

新しいグループ経営管理体系の構築及びシステム導入

- ・ 経営管理における分析軸(事業、製品、顧客等)の見直し
- ・ 製品別損益分析の細分化と精度向上
- ・ 予測・見通し業務の短サイクル化
- ・ ERPパッケージ導入に伴うデータ標準化

グローバル展開支援

- ・ グループ標準システムの国内外への展開
- ・ グローバルでグループ標準を維持するためのルール設計
- ・ 業務特性や地域特性を考慮に入れたテンプレート設計
- ・ 現場の意識改革プログラムの定着化への包括的支援

新しいグループ業績管理指標の設計支援

- ・ バランススコアカードの導入支援
- ・ 利益管理責任者の明確化及び再定義
- ・ グローバル業績管理指標の構築
- ・ 社内報告体制の整理と新運用設計と運用定着支援

IFRS適用支援

- ・ 短期間でIFRS適用の影響を分析するクイック診断
- ・ グループ会計方針の策定支援
- ・ IFRS適用に伴う業務プロセスおよびシステム変更対応
- ・ 決算早期化・決算期統一支援

お問合せ先:

マーケティング 03-3546-8650 pwcjppr@jp.pwc.com

Finance & Accounting ソリューションパートナー 鹿島 章

03-3546-8652 akira.kashima@jp.pwc.com



プライウォーターハウスクーパース株式会社 | 〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル20階
TEL (代表): 03-3546-8480 | Fax: 03-3546-8481 | Our Site: <http://www.pricewaterhousecoopers.co.jp/>

本冊子は概略的な内容を紹介する目的で作成されたもので、プロフェッショナルとしてのアドバイスは含まれていません。個別にプロフェッショナルからのアドバイスを受けることなく、本冊子の情報を基に判断し行動されないようお願いいたします。本冊子に含まれる情報は正確性または完全性を、(明示的にも暗示的にも)表明あるいは保証するものではありません。また、本冊子に含まれる情報に基づき、意思決定し何らかの行動を起こされたり、起こされなかったことによって発生した結果について、プライウォーターハウスクーパース株式会社、およびメンバーファーム、職員、代理人は、法律によって認められる範囲においていかなる賠償責任、責任、義務も負いません。

© 2010 PricewaterhouseCoopers Co., Ltd. All rights reserved. In this document, "PwC" refers to PricewaterhouseCoopers Co., Ltd., which are member firms of PricewaterhouseCoopers International Limited, each member firm of which is a separate legal entity.